

令和2年第1回北本市議会定例会請願文書表

| | |
|----------------|---------------------|
| 受理番号 | 議請第1号 |
| 受理年月日 | 令和2年2月17日 |
| 件名 | 「新駅整備と南部地域開発」に関する請願 |
| 請願者の住所 及び氏名 | 北原正勝 |
| 請願の趣旨 | 別記のとおり |
| 紹介議員氏名 | 諏訪善一良、黒澤健一、岸昭二、大嶋達巳 |

【請願趣旨】

第五次北本市総合振興計画基本構想には、快適で安心・安全な街を目指すこととして、施策ではバランスのある土地利用の推進として「交通・交流拠点（駅等の可能性）について検討します」としております。また、基本計画区分別の土地利用構想では、「商業・業務ゾーン」として「南部地域の商業施設が集中している区域について、より効果的に賑わいが高められるよう交通・交流拠点（駅等の可能性）について検討します」としておりますが、一方、北本市は消滅可能性都市とされた不名誉な人口減少傾向に置かれているのではないのでしょうか。第五次北本市総合振興計画においてもこの計画の柱として対策を講じられ、危機感をもって制定されたことと理解しております。人口減少が及ぼす影響は、財政問題をはじめとする市政運営に大きな影響を及ぼすものと考えております。

南部地域の整備促進は市にとって必須条件ではないのでしょうか。その中心にあるのは「新駅整備」と考えております。そのことによる波及効果が駅勢圏を中心として桶川市を含めて南部地域全体に広がり、少子高齢化、人口減少が加速している北本市の福祉の充実や教育予算の確保のためにも、市税収入の確保や安定的な財源としての価値は十分にあるものと考えております。

市長は、議員の時代に興味のある一般質問をされました。新駅に関して明確な開業の目標年次を設定、基金の積立ては10億円程度、運動体を官民共同で一元化することなどの提案をかねてより述べられております。大変心強い質問でありました。

これらの事柄を総合的に判断すると、北本市としても「積極的な新駅整備と南部地域開発」が求められていると考えます。

何卒、北本市の重要な政策に特段のご高配をもって下記のとおり請願するものであります。

【請願事項】

- 1 市長は、第五次北本市総合振興計画の後期基本計画に新駅整備と南部地域開発の具体的な計画を盛り込むこと。
- 2 新駅に伴う駅勢圏の波及効果を活用した南部地域の総合的なまちづくりを進めること。